

平成26・27・28年度 埼玉県教育委員会委嘱

「考え、話し合い、学び合う学習」推進事業 研究発表会

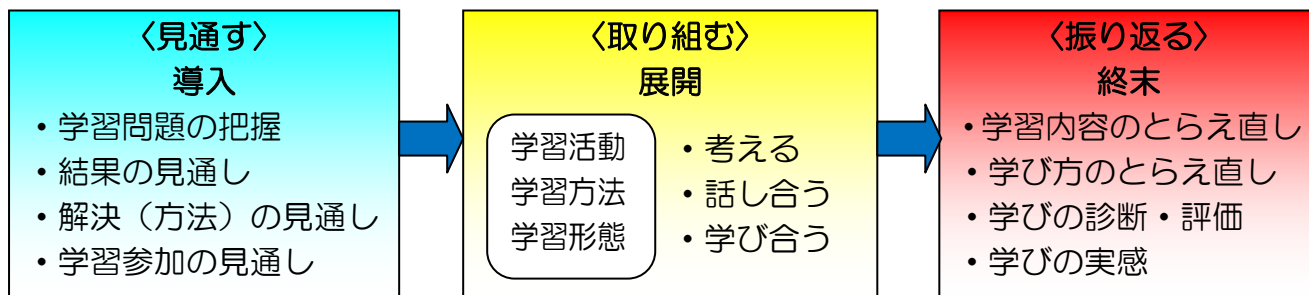
＜日時＞ 平成28年2月10日（水）

＜会場＞ 春日部市立上沖小学校
春日部市立大沼中学校

埼玉県教育委員会では、児童生徒の思考力・判断力・表現力等を育成するため、「考え、話し合い、学び合う学習」推進事業を市町村に委託しています。本事業は、いわゆる、埼玉県版の「アクティブ・ラーニング」の研究とも言えるものです。

東部管内では、春日部市立上沖小学校・春日部市立大沼中学校が推進協力校として平成26・27・28年度の3年間、研究に取り組んでいます。平成28年2月10日（水）に研究発表会が開催されました。

学び合う学習のポイント



学び合いの要素

- 自己との対話を重ねること
- 他者と相互にかかわること
- 自分や集団の考えを発展させ、共に実践に参加すること



「考え、話し合い、学び合う学習」の視点

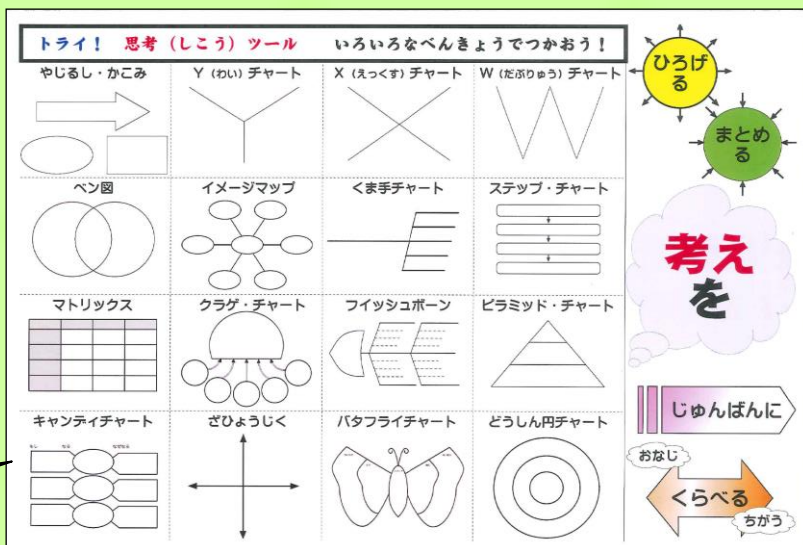
- ①自己、他者、自己と他者、学習内容・方法、学びの実感、などの視点
- ②考えの進め方や学び合い方などについて、イメージ化・可視化することが効果的
- ③手順や図式を発達の段階や問題場面に即して用いたり、組み合わせたりすることが必要
- ④学習に参加できる可能性を予感させる学習問題の把握、認め合える学習集団の空気

本研究の特徴

考え、まとめる工夫として「思考ツール」を活用した授業実践

☆「思考ツール」とは？

(例) ベン図、Xチャート、Yチャート、Wチャート、KJ法、コンセプトマップ、ピラミッドチャート、くま手図、お魚ボーン図、イメージマップ、PMIツール、座標軸、クラゲチャート など



教室に掲示した「思考ツール」一覧表

「思考ツール」活用のメリット

①思考の可視化 ②思考の整理

- 思考が目に見える形となり、付箋等を使って整理できるので、新たな気づきが生まれる。
(言葉だけの交流は、思考することが困難である。)
- 話し合いが活発になり、さらに思考が深まる。

研究発表会の内容

- 1 公開授業
- 2 全体会
- 3 講演会



演題「主体的・協働的な学習の充実に向けた
学習観の転換と学習環境の構築」

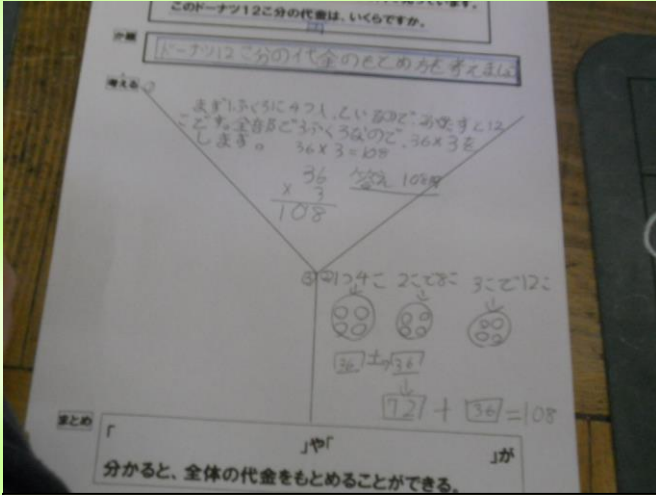
講師：文教大学 中本 敬子 准教授

◆講演の内容（一部抜粋）

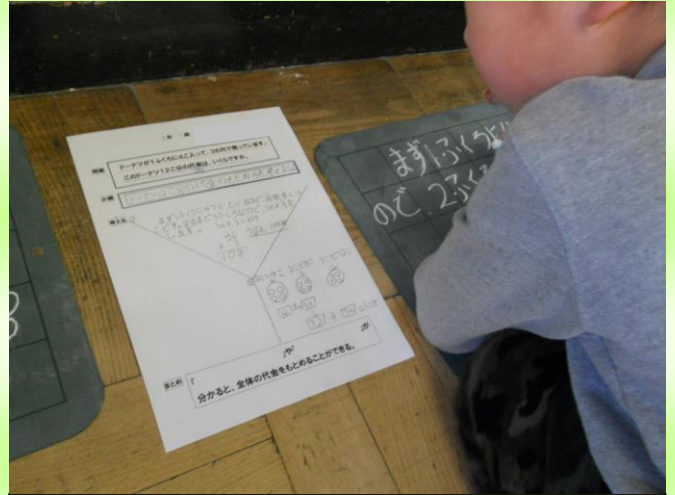
- ・子供自身が考えながら学ぶことで、知識・技能が身につく授業づくりが大切である。
- ・深い理解や概念化を達成させたい場面で、協働による学習（学び合い）を設定することが必要。
- ・学習のゴールに近づいているという実感が意欲を高める。
- ・協働による学習は、思考ツールを使うことによって、自他の考えが視覚化され、考えを深めることができる。



公開授業（春日部市立上沖小学校）



Yチャートで複数の考え方に気付かせる



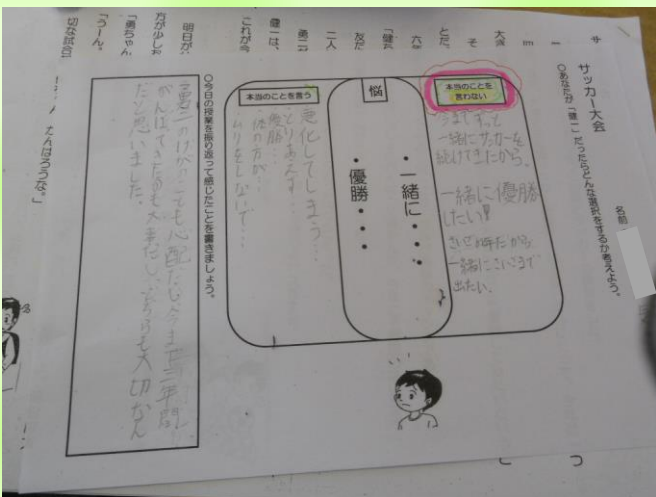
話し合った考えを小黒板に記入する



ウェビングマップで考えを広げる



国の紹介の仕方を考え、話し合う

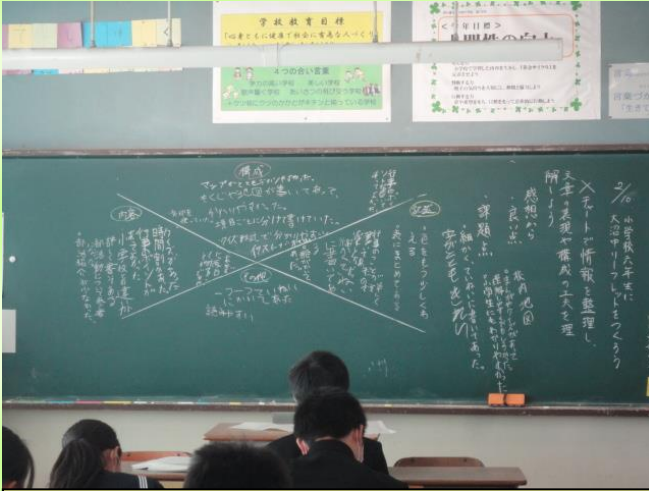


ベン図に葛藤する気持ちを書き出す



ベン図を使って板書にまとめる

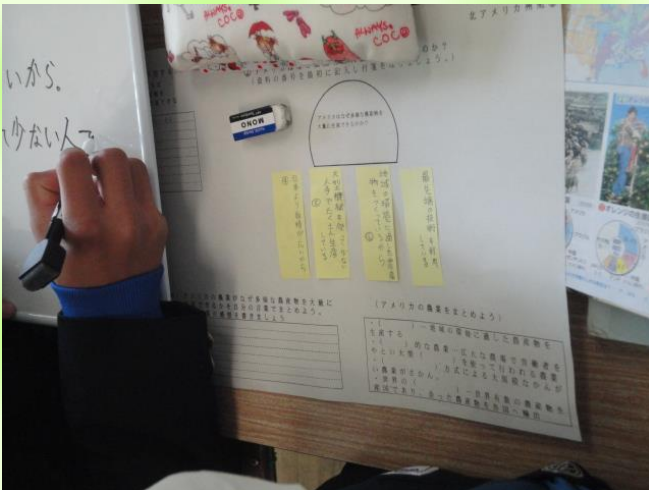
公開授業（春日部市立大沼中学校）



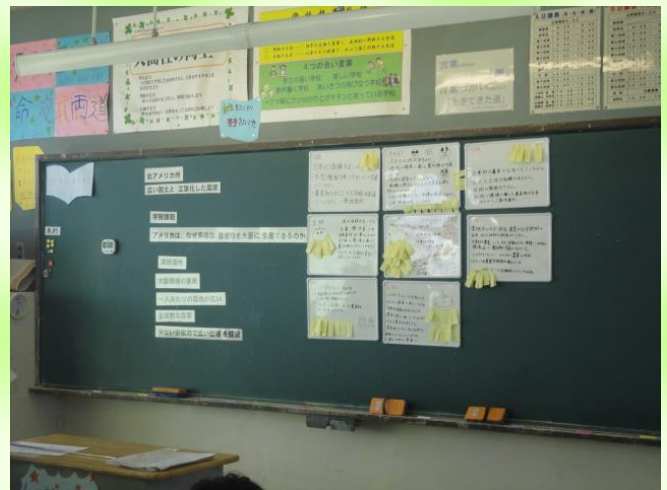
×チャートを用いて4つの項目に分類する



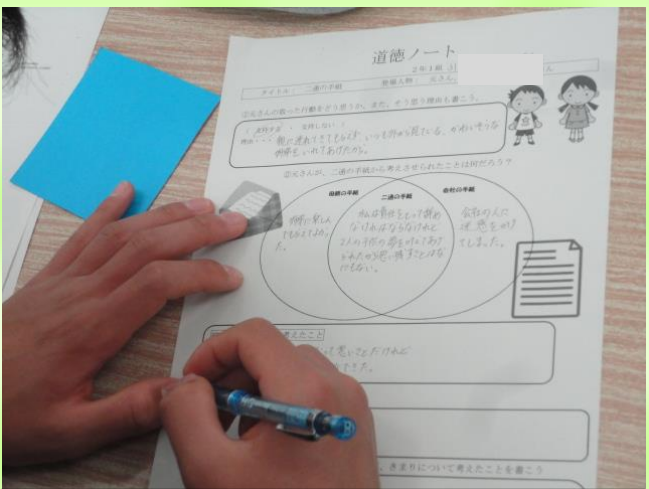
ホワイトボードを使って伝えたいことを考える



クラゲチャートで複数の考えを出す



ホワイトボードに書いた班のまとめの共有



異なる立場の考えをベン図にまとめる

公開授業をとおして

- 「思考ツール」の活用により、思考を可視化でき、児童生徒の思考を整理したり深めたりすることにつながっている。
- 「思考ツール」に慣れてきた児童生徒は、自らその課題に適した思考ツールを選択して考えるようになっている。
- 思考の可視化、思考の整理ができる「思考ツール」によって、班の話合いの中で身を乗り出して話し合ったり、普段発言の少ない子供が自ら発表したりする等、児童生徒の学習意欲が確実に向上している。